

保護者アンケート分析

1 実施時期 7月4日(月)～7月19日(火)

2 実施人数 69名(世帯数97世帯)

3 実施形態 オンラインによる回答

4 考察

(1) 学校生活全般について<項目1～3>

全体的に、保護者の回答は評価が低くなっている。保護者の目からは、「目標を持って学校生活を送っている」と思える生徒は70%を切っている。また、「楽しく充実した生活を送っている」と思える生徒が80%程度、「松中が好きである」と感じる生徒が85%となっている。一人一人の表情や「あゆみ」の記述などをもとに、教職員が積極的に生徒に話しかけていくように努めたい。

(2) 行事等について<項目4～6>

2学期は、運動会、新人総体(1・2年生)、修学旅行(3年生)、文化祭等の行事が相次いで行われる。一つ一つの行事の目標を明確にし、生徒にとって意義のあるものにしていきたい。新型コロナウイルスの感染状況が改善されれば、地域行事にも積極的に参加できるような配慮をしていきたい。

(3) 学習面について<項目7～9>

「学校は丁寧に、分かりやすい授業をしている」について、1年生保護者の肯定率が低くなっている。おそらく中学校の授業が進度も速く、丁寧に欠けていると感じられているのだと思われる。「基本的な学習習慣の定着」についても1年生保護者の肯定率が低いので、まずは学習の進め方をしっかりと伝達することから始める必要があると思う。どのように学習を進めていけばよいのか、戸惑っている生徒が多いと思われる。

(4) 生活面について<項目10～13>

「きまりを守り、規則正しい生活を送ろうと心掛けている」と答えた保護者が8割以上を占めており、生徒と同様の結果となった。挨拶に関する回答は1年生の保護者が低い結果となった。「学校は、自分たちの間違っただ行動に対して、適切に指導している。」という項目の回答は、全体的に低い回答となった。学校と保護者の信頼関係を構築する上で、大変重要な項目であることを考え、2学期の重点改善項目の一つとしたい。

(5) 人権面について<項目14・15>

回答結果より、いじめや仲間はずしに対する取組が不十分であると考えている方が15%程度あった。そのことを踏まえ、言葉遣いや思いやりに欠ける行動を見逃すことなく、その場で適切に指導していく必要性を感じた。早急に職員間で意識統一を図り、改善していきたい。

(6) その他について<項目16～20>

「学校は、連絡・相談したことについて適切に対応してくれる。」という問いに対して2割の保護者が否定的な意見を持っている。生徒の声に十分に耳を傾けることができていないという反省に立って、2学期以降は生徒の話にこれまで以上に耳を傾ける教職員集団になるよう努めていきたい。